

# Instruction Manual

## 取扱説明書

---

### 保管庫・一段式

---

### 保管庫・二段式

---

- このたびは、製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。
- 製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

## Index

安全上のご注意	1
お使いになる前に	1
表面保護フィルムについて	1
各部の名前とはたらき	2
標準付属品	2
扉のはずしかた (全機種共通)	3
アジャストの取り出しかた (中棚が付属している機種又はオプションの中棚ありの場合)	3
アジャストの取り出しかた (中棚が付属していない機種の場合)	4
アジャストの取り付けかた (アジャスト付の機種)	4
アジャストの調節のしかた (アジャスト付の機種)	4
アジャストボルトの調節のしかた (ベース付の機種)	5
上部・下部の固定のしかた (二段式の機種)	5
中棚の取り付けかた (全機種共通)	6
扉の取り付けかた (全機種共通)	7
確認 (全機種共通)	7
耐荷重について	7

## 安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**⚠ 警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

**⚠ 注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

### 絵表示の例

	△ 記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。
	⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止）が描かれています。
	● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は一般的な指示）が描かれています。

<b>⚠ 警告</b>	
	●製品の上に乗らないこと ケガの原因になります。 上乗り禁止
<b>⚠ 注意</b>	
	●天板、中棚、底板に物を載せ過ぎないこと 耐荷重の範囲を超える積載は、製品破損や積載物落下によるケガの原因になります。(7ページの「耐荷重について」参照) 過積載禁止
	●不当な改造をしないこと 不当な改造や指定以外の部品使用は製品破損等によるケガの原因になります。 改造禁止
	●高温、低温になる物のそばに設置しないこと やけどや凍傷、樹脂部品の変形・損傷の原因になります。 高温低温禁止
	●設置工事はお買い上げ店または専門業者に依頼すること ご自分で設置工事をされ不備があると製品の転倒や落下などの原因になります。 専門業者
	●組立、設置、清掃の時には必ず軍手を着用すること 素手で作業をすると、ケガの原因になります。 軍手着用
	●設置面が丈夫で平らな所に、棚面が水平になるように設置すること 傾いていると製品が転倒したり積載物が落下して、ケガの原因になります。 水平に設置

## お使いになる前に

### 確認・点検

- 製品がお手元に届きましたら、型式、寸法、仕様などがご注文通りのものかご確認ください。
- 構成パーツ・付属品およびオプションの欠品はないかご確認ください。
- 輸送中の破損箇所等がないか点検してください。

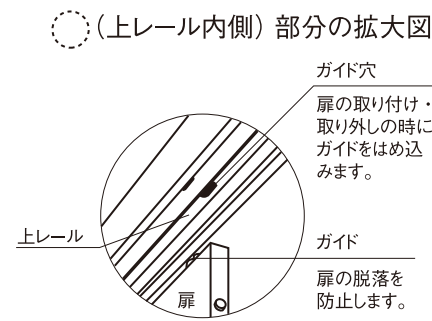
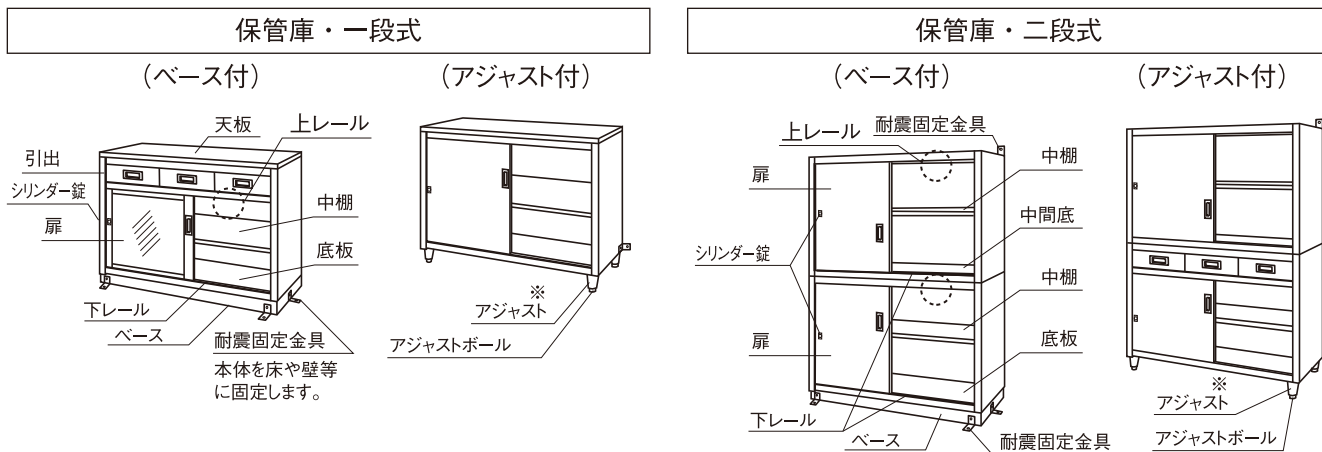
### お願い

- お取り扱いの際には、製品を傷つけたり、破損したりしないように充分ご注意ください。
- 雨や水のかかる場所に製品を放置しないようにしてください。
- 酸性の液体、塩分、洗剤原液が付着しないようにしてください。
- 潮風や海水のあたる場所には設置しないでください。
- 製品の汚れはすぐに拭き取ってください。放置するとサビの原因になります。

## 表面保護フィルムについて

- 製品の表面には、「表面保護フィルム（青色または透明）」が貼られています。
- 「表面保護フィルム」は、製品のご使用前に必ず剥がしてください。(長期間たつと剥がれにくくなります)
- 製造過程で「表面保護フィルム」に治具跡（シワ等）が残る場合がありますが、製品には影響ありません。

# 各部の名前とはたらき (機種により各部の仕様は異なります)



※ 出荷時には、アジャストは本体に取り付けられておりません

1) 中棚が付属している機種又はオプションの中棚ありの場合

2) 中棚が付属していない機種の場合 (オプションの中棚なし)

アジャストの入ったケースが、中棚にPPバンドで固定されています。

アジャストの入ったケースが、底板に輸送時固定用段ボールとテープで固定されています。

● 3~4ページの「アジャスト／キャスターの取り出しかた」、4ページの「アジャストの取り付けかた」「アジャストの調節のしかた」

## 標準付属品

標準付属品		中棚 (段)	棚受フック (個)	固定ネジ／平ワッシャ (組)	アジャスト (個)	耐震固定金具 (個)	耐震固定金具用ビス (本)	底板キャップ (個)
一段式	ベース付	L型	1 <sup>※1</sup>	4 <sup>※1</sup>	-	-	4	4
		LD型						
		LG型						
		LDG型						
	アジャスト付	LA型						
		LAD型						
		LAG型						
		LADG型						
二段式	ベース付	V型	上下各1 <sup>※1</sup>	上下各4 <sup>※2</sup>	4	-	6	6
		VG型						
		VGG型						
		VD型						
		VDG型						
		VDGG型						
	アジャスト付	VA型						
		VAG型						
		VAGG型						
		VAD型						
		VADG型						
		VADGG型						

※1 間口1500、1800の中棚は左右二分割式棚です。  
 ※2 左右二分割式棚の場合は6個になります。

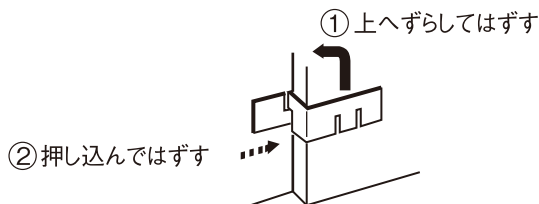
## 扉のはずしかた (全機種共通)

### お願い

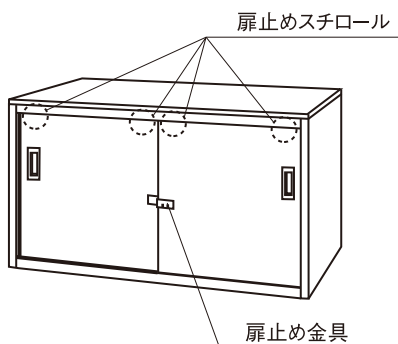
- 扉には樹脂成型部品 (ガイド・戸車) が付いていますので、取り扱いにご注意ください。
- 床面に毛布や段ボール等を敷いて、製品を傷つけないよう保護してください。
- 「表面保護フィルム (青色または透明)」は、必ず剥がしてお使いください。

### 1 輸送時固定用の「扉止め金具」と「扉止めスチロール」をはずします。(上部・下部共)

「扉止め金具」は下図の要領ではずしてください。

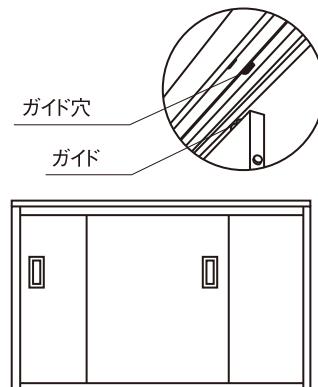


「扉止めスチロール」は上レールと扉のすき間にはさみ込まれています。(下図の4カ所)  
扉を左右に動かして、4個の「扉止めスチロール」を取りはずしてください。



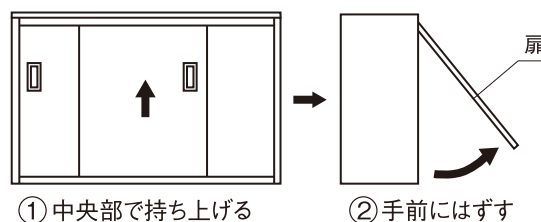
※取りはずした「扉止め金具」と「扉止めスチロール」は不要になりますので、捨ててください。

### 2 扉を中央部に移動させ、扉上端の「ガイド」と上レールの「ガイド穴」を合わせます。



### 3 扉を持ち上げて、扉下端を下レールからはずします。

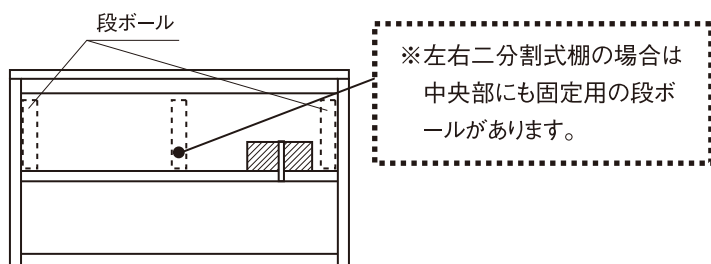
十分に扉が持ち上がらない時は、扉の位置を左右に少しずつずらして、ガイドとガイド穴が合う位置をさがしてください。



### 4 他の扉も2.~3.の要領ではずします。

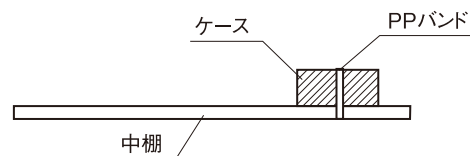
## アジャストの取り出しかた (中棚が付属している機種又はオプションの中棚ありの場合)

### 1 輸送時固定用段ボールをはずします。



アジャスト4個入のケースが、中棚にPPバンドで固定されています。  
(二段式は下部の中棚)

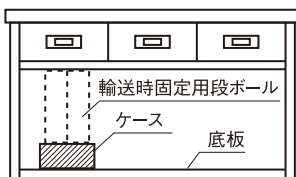
### 2 中棚を取り出し、PPバンドをはずして、ケースからアジャストを取り出します。



※数がそろっているか？ 輸送中の破損箇所等がないか？  
取り出したアジャストを確認してください。

## アジャストの取り出しかた (中棚が付属していない機種の場合)

- 1 輸送時固定用段ボールとガムテープをはずします。



アジャスト4個入のケースが、底板に輸送時固定用段ボールとガムテープで固定されています。

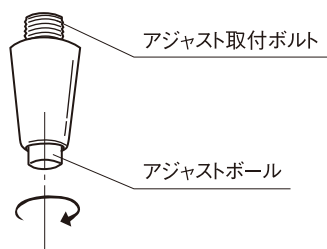
- 2 ケースからアジャストを取り出します。

※数がそろっているか？ 輸送中の破損箇所等がないか？  
取り出したアジャストを確認してください。

## アジャストの取り付けかた (アジャスト付の機種)

- 1 アジャストボールをねじ込んでおきます。

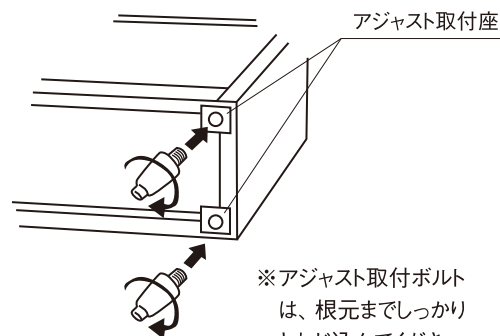
あとで調節する時に手でゆるめられる程度の強さで  
いっぱいまでねじ込んでください。



※この状態で製品の高さ寸法は  
キャビネット作業台=800mm  
(EL型は650mm)  
戸棚=1800mmになります。

- 2 アジャストを本体に取り付けます。

アジャスト取付ボルトを本体底面のアジャスト取付座  
にねじ込んでください。



※アジャスト取付ボルトは、  
根元までしっかりとねじ込んでください。

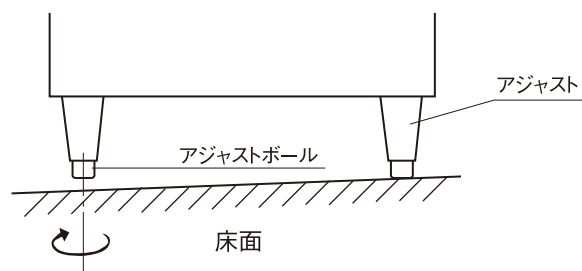
## アジャストの調節のしかた (アジャスト付の機種)

- 1 低い部分のアジャストボールをゆるめます。

製品全体を水平にした時に、アジャストの先端が床面から離れる箇所（低い部分）のアジャストボールをゆるめて、床面に密着するように調節してください。

※水平に設置されていないと、扉の開閉がスムーズにできない場合があります。

※アジャスト幅は+30mmです。それ以上アジャストボールをゆるめないでください。



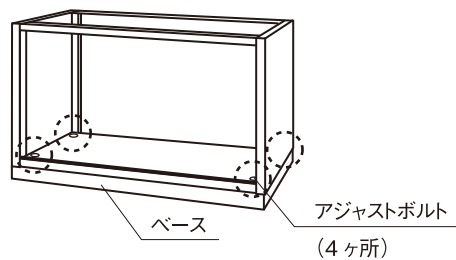
## アジャストボルトの調節のしかた (ベース付の機種)

### 1 低い部分のアジャストボルトをのばします。

製品全体を水平にした時に、ベースの角が床面から離れる部分（低い部分）のアジャストボルトをまわして、アジャストボルトの先端が床面に密着するように調節してください。

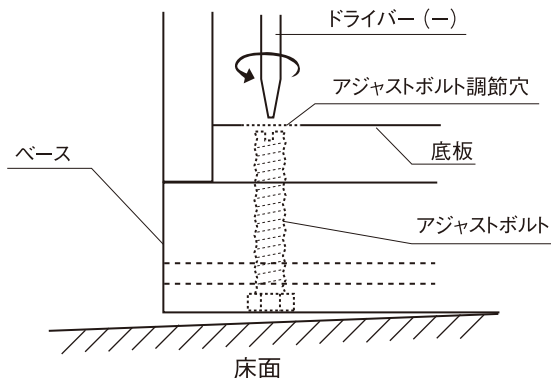
※水平に設置されていないと、扉の開閉がスムーズにできない場合があります。

※アジャスト幅は+30mmです。それ以上アジャストボルトをまわさないでください。



### 2 底板キャップをかぶせます。

アジャストボルトの調節が終われば、アジャストボルト調節穴に底板キャップをかぶせて、穴をふさいでください。



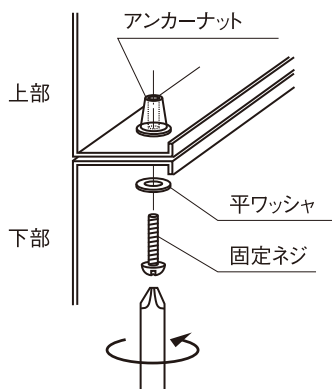
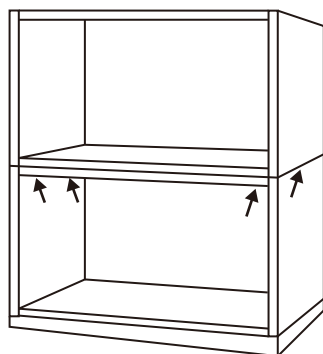
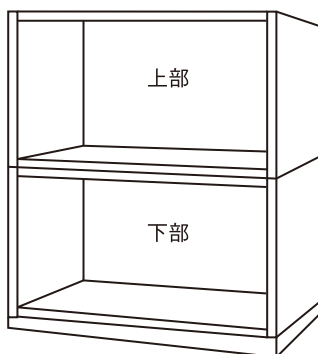
## 上部・下部の固定のしかた (二段式の機種)

### 1 上部を下部の上ののせます。

上部と下部は、ずれないようにピッタリと重ね合わせてください。

### 2 固定ネジ／平ワッシャで固定します。

下部の天板の四隅の穴から、上部のアンカーナットを確認し、そこに固定ネジをねじ込んで、上部と下部を固定してください。



※平ワッシャを必ずご使用ください。  
※固定ネジはまっすぐに根元までねじ込んでください。  
※固定ネジは必要以上に強くねじ込まないでください。製品の変形の原因になります。

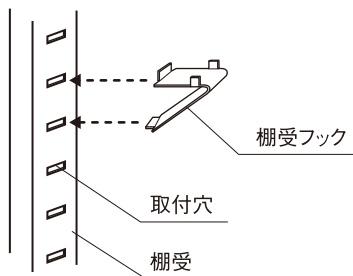
# 中棚の取り付けかた (全機種共通)

## 1 受に棚受フックをはめ込みます。

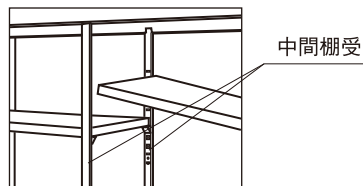
棚受フックは、各棚受の同じ高さの取付穴に取り付けてください。

※棚受フックは、ガタつかないようにしっかりとはめ込んでください。

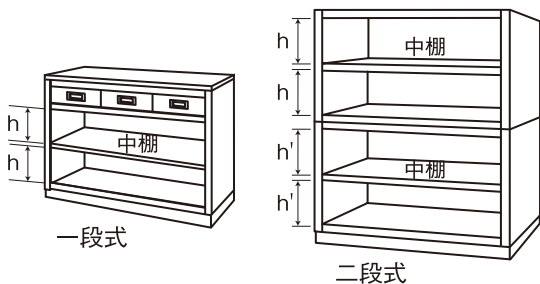
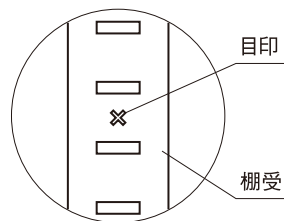
※棚受フックは必ずすべての棚受に取り付けてください。



間口1500mm,1800mmの機種は左右二分割式棚になりますので、中間棚受にも棚受フックを取り付けてください。



棚受の目印の位置に棚受フックを取り付けると、収納寸法をほぼ等分することができます。



### 等分寸法

#### ◆保管庫・一段式

一段式 (引出なし) ……h=約340mm

一段式 (引出付) ……h=約270mm

#### ◆保管庫・二段式

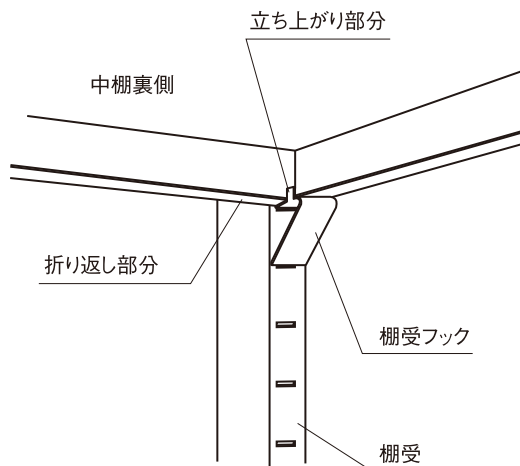
二段式 (引出なし) ……h=約340mm、h'=約340mm

二段式 (引出付) ……h=約340mm、h'=約270mm

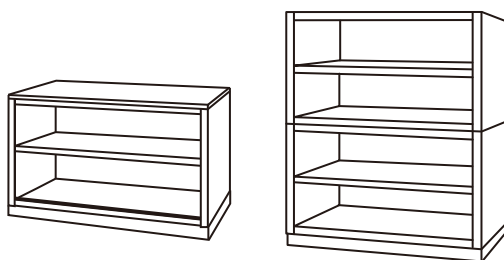
注) 間口1500mm,1800mmの機種には中間棚受があります。

## 2 中棚を取り付けます。

棚受フックの立ち上がり部分に中棚裏側の折り返し部分がはまるように中棚をセットしてください。



※中棚のガタつきがないか、十分にチェックしてください。



間口600mm~1200mmの機種



間口1500mm・1800mmの機種 (左右二分割式棚)

注) 間口1500mm,1800mmの機種には中間棚受があります。

# 扉の取り付けかた (全機種共通)

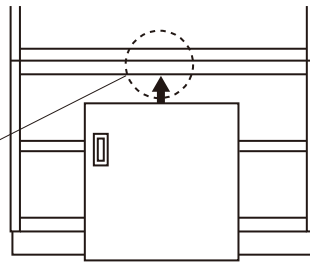
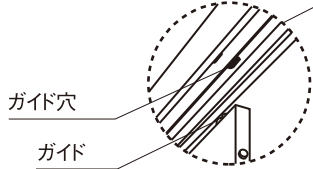
お願い

●扉には樹脂成型部品 (ガイド・戸車) が付いていますので、取り扱いにご注意ください。

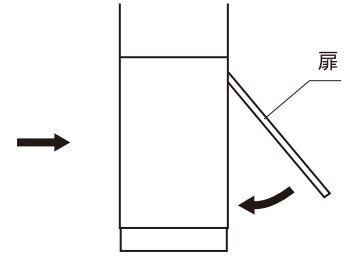
**1** 扉上端の「ガイド」と上レールの「ガイド穴」とが合うようにして、扉を下から差し込みます。

※開口部の中央あたりでガイドとガイド穴が合うようになっています。

※必ず、奥の扉を先に取り付けてください。



① ガイドとガイド穴を合わせて上レールに差し込む



② 下レールにはめ込む

**2** 他の扉も1.の手順で取り付けます。

## 確認 (全機種共通)

最後に、完成品の各部の状態を点検してください。

※各取付部分に「ずれ」や「ゆるみ」が無いようにしてください。

※天板・中棚・底板が水平になるように設置してください。

※全体の水平はアジャストまたはアジャストボルトで約30mmの調整が可能です。

※「表面保護フィルム (青色または透明)」は、必ず剥がしてお使いください。

※製品の汚れはすぐに拭き取ってください。放置するとサビの原因になります。

## 耐荷重について

### ⚠ 注意



過積載禁止

●天板や棚に物を載せ過ぎないこと  
耐荷重の範囲を超える積載は、製品破損や積載物落下によるケガの原因になります。

※耐荷重の数値は、すべて製品の自重も含みます。

※耐荷重の数値は、諸条件により異なる場合があります。

※耐荷重の数値は、均等な荷重で静止した状態での数値です。

※組立式の製品は、正しく組み立てが行われている場合の数値です。

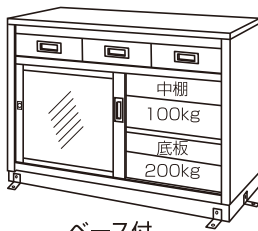
●白抜き文字の数値は総耐荷重 (製品全体の荷重量の上限) を示します。

●細文字の数値は部分耐荷重 (特定部分の荷重量の上限) を示します。

●部分耐荷重は“荷重量の合計が総耐荷重を超えない”事が条件です。

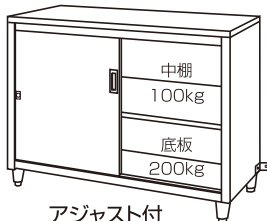
### 保管庫・一段式

天板 150kg



ベース付

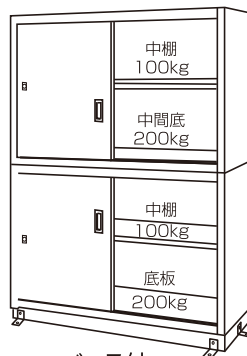
天板 150kg



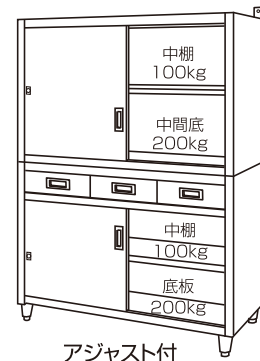
アジャスト付

総耐荷重 400kg

### 保管庫・二段式



ベース付



アジャスト付

総耐荷重 800kg